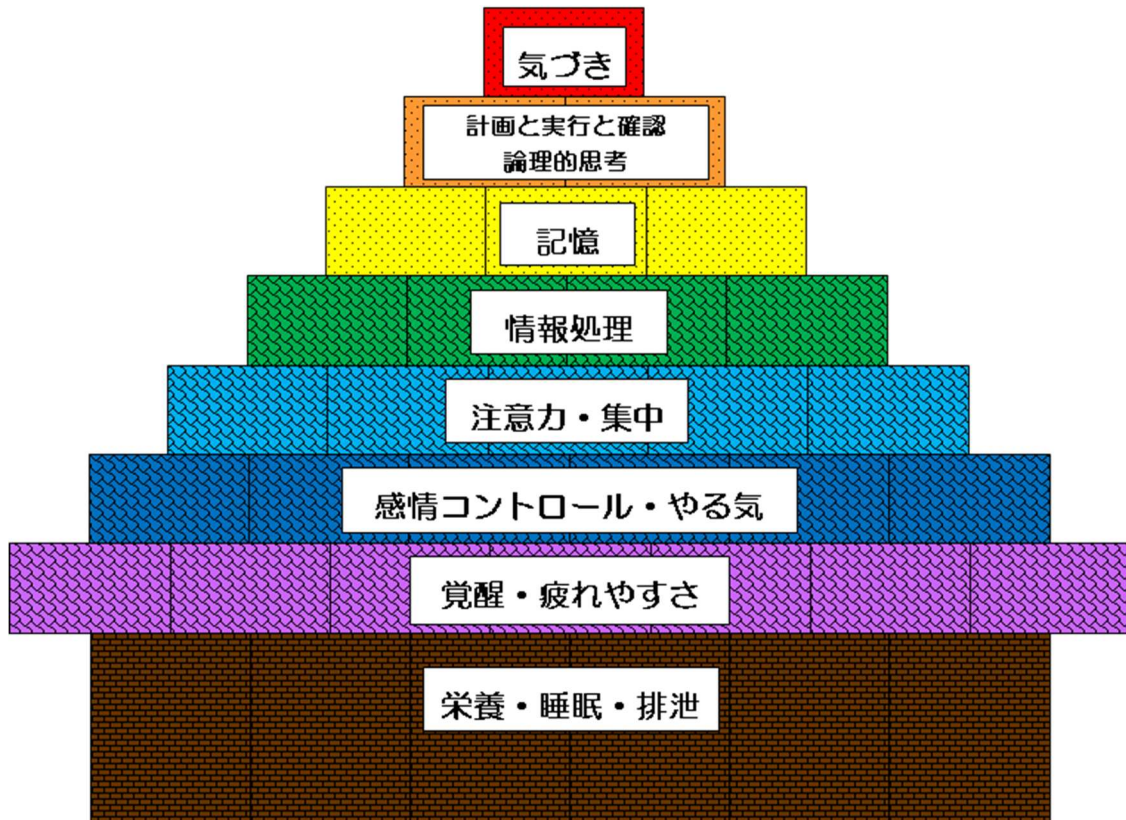


高次脳機能障害について

病気や怪我により、“**高次の脳機能が障害**される”ことを **高次脳機能障害** と言います。

高次脳機能の中には、注意力、記憶力、計画力、実行力、感情のコントロールや、自分で自分の状態を理解する、ということが含まれています。

この高次脳機能について、下の図のような階層の構造になっている、という考え方があります。



この図では、より下にある機能の働きが、より上にある機能の働きを支えています。より下にある機能が障害されると、上にある機能もうまく働かなくなると考えます。

例えば、“睡眠がとれていないと すぐに疲れてしまう”

“疲れていると、イライラする”

“イライラしていると、集中できない” というようにつながります。

病気や怪我をして記憶力が落ちた、注意力や集中力を改善したいというときにも、まずは十分な栄養や睡眠をとり、健康状態を改善することで、機能改善につながっていきます。

高次脳機能障害地域活動支援センターでは、こうした考えの下にリハビリテーションを行っています。
通所を通して生活リズムを作り、“栄養・睡眠・排泄”から、一歩ずつ進んでいくことが大切です。